

CASBEE-建築(新築)2016年版
(仮称)柏十倉二がんセンター寮 新築工事

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版

欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト:

CASBEE 柏2016(v2.1)

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質										2.5
Q1 室内環境							0.40			3.0
1 音環境							0.15	3.0	1.00	3.0
1.1 室内騒音レベル								3.0	0.50	
1.2 遮音								3.0	0.50	
1 開口部遮音性能								3.0	0.30	
2 界壁遮音性能								3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)								3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)								3.0	0.20	
1.3 吸音										
2 温熱環境							0.35	2.7	1.00	2.7
2.1 室温制御								3.3	0.50	
1 室温								3.0	0.63	
2 外皮性能		日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級4相当である。						4.0	0.38	
3 ゾーン別制御性										
2.2 湿度制御								1.0	0.20	
2.3 空調方式								3.0	0.30	
3 光・視環境							0.25	3.3	1.00	3.3
3.1 昼光利用								4.0	0.30	
1 昼光率		2.0% ≤ [昼光率]。						5.0	0.50	
2 方位別開口								3.0	0.30	
3 昼光利用設備								3.0	0.20	
3.2 グレア対策								3.0	0.30	
1 昼光制御								3.0	1.00	
3.3 照度								3.0	0.15	
3.4 照明制御								3.0	0.25	
4 空気質環境							0.25	3.0	1.00	3.0
4.1 発生源対策								3.0	0.63	
1 化学汚染物質								3.0	1.00	
4.2 換気								3.0	0.38	
1 換気量								3.0	0.33	
2 自然換気性能		自然換気有効開口面積が居室床面積の1/6以上。						5.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮								1.0	0.33	
4.3 運用管理										
1 CO ₂ の監視										
2 喫煙の制御										
Q2 サービス性能							0.30			2.9
1 機能性						1.6	0.40	2.6	1.00	2.4
1.1 機能性・使いやすさ						1.0	0.57	3.0	0.60	
1 広さ・収納性										
2 高度情報通信設備対応								3.0	1.00	
3 パリアフリー計画						1.0	1.00			
1.2 心理性・快適性								2.0	0.40	
1 広さ感・景観								3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース										
3 内装計画								1.0	0.50	
1.3 維持管理						2.5	0.43			
1 維持管理に配慮した設計						3.0	0.50			
2 維持管理用機能の確保						2.0	0.50			
2 耐用性・信頼性						2.8	0.30			2.8
2.1 耐震・免震・制震・制振						3.0	0.50			
1 耐震性(建物のこわれにくさ)						3.0	0.80			
2 免震・制震・制振性能						3.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数						3.1	0.30			
1 躯体材料の耐用年数						3.0	0.20			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						2.0	0.20			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔						2.0	0.10			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔						3.0	0.10			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水PEP(B)、排水VP(B)、冷媒管(C)、Eは不使用。				5.0	0.20			
6 主要設備機器の更新必要間隔						3.0	0.20			
2.4 信頼性						2.2	0.20			
1 空調・換気設備						3.0	0.20			
2 給排水・衛生設備						1.0	0.20			
3 電気設備						3.0	0.20			
4 機械・配管支持方法						1.0	0.20			
5 通信・情報設備						3.0	0.20			

3 対応性・更新性			3.0	0.30	3.8	1.00	3.6
3.1 空間のゆとり					4.6	0.50	
1	階高のゆとり	階高:3.2m。	-	-	5.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ	0.1≦[壁長さ比率]<0.3。	-	-	4.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり					3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	1.00	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	1.7
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			2.0	0.40	-	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.0	0.30	-	-	2.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性							3.3
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.0
1 建物外皮の熱負荷抑制		日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級4相当である。	4.0	0.20	-	-	4.0
2 自然エネルギー利用			2.0	0.10	-	-	2.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.86	4.8	0.50	-	-	4.8
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		-	-	-	-	
4.2	運用管理体制		-	-	-	-	
集合住宅の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.6
1 水資源保護			2.2	0.20	-	-	2.2
1.1 節水			1.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.6	0.60	-	-	2.6
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.10	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	LGS使用している。	4.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.20	-	-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.5	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	ODP=0, GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。	4.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.0
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率が91%。	3.3	0.33	-	-	3.3
2 地域環境への配慮			2.8	0.33	-	-	2.8
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.5	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		-	-	-	-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	